

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		3位決定戦																
日時	平成29年12月28日(木)	11:40 ~																
会場	湿原の風アリーナ釧路B																	
結果	当麻中 旭川	<table border="0"> <tr><td>14</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14	—	10	11	—	16	10	—	15	13	—	16		OT		釧路富原中 釧路
	14	—	10															
11	—	16																
10	—	15																
13	—	16																
	OT																	
	48		57															
審判	主審 佐藤 智也	副審	庄司 望美															

第32回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

当麻中		旭川						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	今井 梨菜	×	9	1	3	0	2	3
5	坂本 一華	×	7	0	2	3	3	1
6	藤野 静蓮	/	2	0	1	0	1	0
7	小板橋 李帆	×	3	0	1	1	3	1
8	中港 未央	×	21	2	6	3	4	1
9	藪内 莉々花	DNP	0					
10	瀧谷 知彩	DNP	0					
11	谷口 聖実	DNP	0					
12	谷内 里菜	×	6	0	3	0	0	1
13	鍛冶 朱夏	DNP	0					
14	大柳 里奈	DNP	0					
15	公平 夕結	DNP	0					
16	0	DNP	0					
17		DNP	0					
18	0	DNP	0					
HC	高山 達也							
合計			48	3	16	7	13	7

釧路富原中		釧路						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	三戸 志恵李	×	16	1	6	1	3	2
5	山本 菜々香	DNP	0					
6	後鳥 はづき	×	8	0	4	0	1	2
7	加藤 心音	DNP	0					
8	小野 くるみ	DNP	0					
9	成田 くるみ	DNP	0					
10	石戸谷 知愛	/	7	0	3	1	4	3
11	武山 千尋	×	14	0	7	0	3	0
12	宍戸 真菜	×	0	0	0	0	0	0
13	岩田 郁	/	0					
14	塚本 美麗	×	7	1	2	0	8	2
15	依田 南海	/	5	1	1	0	0	2
16	橋 陽菜	DNP	0					
17	加藤 那奈	DNP	0					
18	横山 夏音	DNP	0					
HC	山口 直哉							
合計			57	3	23	2	19	11

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

1Q  
 スタートは、釧路富原#4#6#11#12#14、当麻#4#5#7#8#12。富原はハーフマンツ、当麻はオールマンツディフェンス。当麻#12のジャンプシュートが得点。両チームともターンオーバーやフリースローミスが多く、得点が伸びない。開始3分で富原が#11のシュートでようやく得点。その後、富原のディフェンストラップが決まり、得点を詰めるも、当麻も#8の3Pで取り返し、10-14で1Qを終える。

2Q  
 当麻は#5のジャンプシュートや#8のゴール下などで加点。対する富原は#14のゴール下や#11のブラインドカットからのジャンプシュートで加点。その後、富原のオフENSリバウンドからのゴール下やファーストブレイクなどで、残り3分半で逆転。当麻も#4の3Pなどで応戦し、26-25で2Qを終える。

3Q  
 富原は、#6のジャンプシュートや#14のドライブなどで点数を重ねる。対する当麻は#8の3P、#5のドライブなどで対抗する。富原は、積極的なディフェンスから速攻を狙うも効果的に加点できない。当麻もフリースローがなかなか決まらず、両チームとも我慢の時間が続き、41-35で3Qを終える。

4Q  
 開始から、当麻はプレッシャーの強いディフェンスに切り替え、富原のミスが目立つようになる。当麻は#8を中心に、3Pやジャンプシュートなどで、点数を重ねていく。対する富原は#4の3Pやスティールからのレイアップなどで加点し、点差を縮めさせない。当麻は残り1分54秒でタイムアウト。当麻はさらにプレッシャーをかけるが、富原は#11がシュートを決める。残り1分8秒で再び当麻がタイムアウト。当麻はプレッシャーをかけ続けるが、なかなか点数につながらない。最後は#11のレイアップで勝負を決め、57-48で試合終了。両チームとも最後まで、気持ちを切らさず試合を終えた。決戦大会での活躍を期待したい。